



5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2

門口13
號1710
卷1

理氣鄙言

1710
卷1

卷序

13
門口號卷
1710
1

野處家文

藤野潔氏遺愛之記

近世ノ學者自ラ程朱ラ宗トエト称ニル者ト呈モ理氣ノ說
立リテハ憮然トニテ辨セサル者多シ其間甚ニフニテハソノ名
義ラダモカツテキシラザル者アルニ至ルヲ不肖竊ニコレラ憲
ム暇日ケニア、筆ラトリリ七畧シ論大凡十則ヲ得タリ
甚詞甚鄙俚ナハラ以テ名ツケテ理氣鄙言ト云浅陋
ノ見セトヨリ學者ニ益アルヘキニ非トイヘ足或ハ初學名
義ヲ求ムルノ一助トナルヘキモノモアランカ然レバ凡學同也道
ノ卑キヨリ高キニノホリ淺キヨリ深キニ至ルモシタゞ高ク性
命天道ヲ説ニテ近ク用切近ノ務ノヲ忽ニセバカヘツテ聖
字ノ罪人タルベコレ考人ノ當ニ成ハベキ所ナリ因テ是

貞端ニ書ス

理氣鄙言

理氣全體

理ハ畢竟在先等 理氣妙合針離者合有
理ハ活物タリ 無理、生ニ無窮

天下無理外之氣，并善惡皆无理。理元二者，字宙乃二充實。一理即萬理，并渾然粲然。全體統体，各具三樣，看并所当然，所必然，兩層。理氣体用，并体用一原，顯微無了。理無精粗。

卷之三

中興

理元鄙言

理氣，全休

月ノ学徒満源ト相対ナヒ

トナリ一塵、微ニモマテス

粗精、不曰アリ、理ニハ精

うべ、鬼神龐魄第

属スルヨリハ精妙不測

ニ日ノ事ハ所ニ非ズンバ史自ノキク所、口ノ味フル所ニ派ンバ史事

ノカゲ所、其四者ニ非シリ丈身ニ觸ヒキニ宣えニ所ノモノ
ナシテスコレラ人ニサトサント歟スルニ固ツリ甚容易ナラズト虽モ、
猶擬議模倣ニテ及ばズキツモアリガ、精粗ノ不同ナキト云フ
モニ至リテハ誠ニ至精ノ極ニテ無形無象ナルニヘソノ實體
甚認メ難クニレタ、心ニ會日スベクニテ、徒ニ耳ニキ、目ニ視、口ニ
味ヘ鼻ニ觸キ身ニ觸リ、モニニアラズ、ソレユヘ學者トイヘモ或
ヨニ昧キモナリ、孔子曰久民可使由之不可使知之、子思曰人
莫不飯食也、鮮能知味也、孟子曰行之而不著焉、習
矣而不察焉、於自由之而不知其者衆也、コニ矣夫子言
モ如其ナケキヨヨリ、詞ニヤシカルニコノ理トキヲ乍
貼セシム、目ヲサキテ考ルカ坐禪觀念シテ得ベキカト云ニ

盡改究氣頃

先於理

必レモ如此ニテ得ラル、モノニアミタ、タダ、氣ニ就テリ、又、ラ察ス
皆リ外ナレコレ理氣合一、卒然ニシテ物ニ即ヒテ其理ヲ窮
ルノ法ナリ、故ニ理、字ヲトクトスマサントナラバ、一ツ、氣、字ヲク合

タルベシ、凡氣ノ字形質ニ對メイヘトリトノタル安具体ナ

クニテタ、何トナクモヤア立キニ合アルモノラニナリ、天地、間

ニ寒暑、氣ト云ヒ即氣雲ニナトニ美、人ノ上ニテ氣象、氣息、ナ

氣不為空氣

狹義之氣

廣義之氣

氣及象及形

ト云美、イツレモソノキニ合ハタシカニアル是、實貝物テナキユヘ丸キモ

ノモ、用ナ天也、姿形ヲナサヌヨリ云フナク、コノ時、ハ氣ノ字アタヒテ

袂、ニ阴阳ヲ氣トシ、五行ヲ質トスニ、季ナリ、又形ト云テ氣ノ字一デ

大傳形而上形而下、言、理ノ字ニ對シテ稱スニハスベテ、アリ、象

アリ、形アルモノラクハナテニユヘアタル所甚廣ニコノナハ金石壁

元子論

キ天地山リノ大ナルモシナコレヲ概を元ト稱ス、公キテ云々陰陽
ヲ氣キニ、五行ヲ質トソヒ共、スヘテ云サハ陰陽モ五行モシナ氣ト
稱スル類コレナリ、コレ歎アルモノハ畢竟何レモ氣、凝リ堅リ
タルモノニテフノ別アリトウヘヌシ、水ト火ト、如クニゾ大段異
差モニ非ルニセニビニテ氣トスナリ凡天地、字ミナ一氣ナリ、分シ
テ陰陽天地トナリ、五行萬物トナリ、日月星辰トナリ、山川
河海トナリ、人トナリ、禽獸木トナリ、萬品不齊トイモノゾ
實ノ気ノ一字シ出テズ、ソノ輕清ニテ上ニ運旋スル天ト云、ソノ重
濁ニシテ下ニ安靜ムヨリ地ト云、陽ニシテ晝ラテラスヨリ日ト云、
陰ニシテ夜ラテラスヨリ月ト云ヒ、處リテソバタツモノラ山ト云ヒ、触
流ハモノラ川ト云、五体具リテ天地ニ肖ク、形ヨリ人ト云ヒ、靈ア

リテ空ヲ飛ヨリ、鳥ト云、四足アリテ地ヲ走ルヨリ、獸ト云カ如キ、ソ
一類ノ中ニサモ數種數様アリテ、ソノ名ニトククカシ教ヘカテサルニ
至ルトイヘモ、ノ、冥未タ、一氣ナリ、コレラタトヘテ云フニ、偶人ノ如シ、ソノ内
ニ公家モアリ、法師モアリ、武者モアリ、美女モアリ、老人モアリ、
嬰兒モアクテ、ミナ一種ナラストラヘモソノ實体、皆土ニテ作ヒニモ
ナリ、已西駕ニ天地ニ塞者其体ト云ヒ、中庸章句云吾ノ氣
順則天地之氣、逆則天地之氣也、中庸章句云吾ノ氣
蓋ト云ヒ、形而下爲體詩雲民之物ト云、有物ソシノ、ノアタリシ墨、ナ
アセモ、大抵背コノ氣ナリト見テヨシ理、ト即コノ氣ニツヒテ、
「自然」條理ヲナリ、氣ヲハナレテ別ニ空妙大物アル
ヲ云ハアテ云、理ノ字ハモト玉理ト云テ玉名セ、美ニ木ノモクメ

ト云ア如クナル自然ノスシアルヲ。コレ天生自然ノモノニモノ事レテ、三生ス
レトヒトシリ玉ニツナワリテ、人為造作ヲカニズ。今試ニ越タウ子
ナトニテ碑キテ見タランニ。越父カ子ノアクリタレ處ニニ歟。羊缺
ハモドヨリ越タガ子ノ無考トレモ、ソレヨリ先ヘ傳ヘクテヒゾイクウ
ニテテ处ソシモチ未レル自然ノスナナリ。コレモ理ト云。己
碑キテヨリハシメテコスジノアレニテ、碑カヌ先ヨリ人目ヨ
リ見ス。是モタシカニソナハリテアヘナリ。又木ニモノアルモ涅トムフ。
斧ヲ入テレフラヌ先ヨリコニハ斧ヲスルレバコノスジヘヒヤクト云
ヤウニ自然ニスナキアレア。本理ナリ。コレ弁人、作焉ニヨリテ如
此ナニヤエス。シカルニ鑿ナトモニ横ミナリ。足ニキ切ヘサリ。坎ニモ木
理ナリ。方ニカヌ。コレ人カノ陽制ス。所ニテ自然ノ理トハ云ガラス。

キテ又先ヨリソナワル所ノモノニハヤうべ、コレ玉理木理、說ナリ。シカルニ
理氣理ノ字ハ此ノ意ニヨリ工轉シテ云タルモノニテ畢竟假
借ノ言ナリ。玉理木理ハ物象、見ルベキモノアリテ、氣ニ屬ス。故ニ
水火ニ投スレバケ碑ケ、碑ケ濡レ朽ルヲ免レズ。玉碑止ハ玉理モ氏
ニ辟ケ木筋止ハ木理モモニ朽ルセ。理氣ノ理ニ至リテ、ソノ
天生自然ニテ人知私智所為ニテナキハ玉理木理ト同、古
キヘキノ体無声無臭ニシテ火ニ焦レヌ水ニ潤ワズ形ニ元ニ羊
テ形氣ヲ離レズトイヘニ秋氣トハ大ニ異リ。形氣ニヤトリガラ
形氣ニ束縛セラレヌモノアルニ。始ク一端タヒテコレライヘハ大
モヘ水ツウルホト云如キ。モウルホフハモトヨリ矣ナシ。史
ナレハモユハツ水ナバウキモウハツト、天然一定ニ。後鳥居松根ヲ

カラスニカモ之ナレハ必モエルハツニテ、ウハホスフ水ナレハセウルモスハツ
ミテモニヘリオメコニシレクニ條理ヲナシテソノ物くニシナワリニキ。
コレ即ナ理ナリ、ナレ凡モニヨニケニ理、本体ト云ヒウルホウヲ
スケニ理、本体ト云ニアテゾワノハツノヘ、動キナキモノアルソ理ト
事理ミ善別
傳説ナ所謂因果
蓋所謂理也
彼ニ所謂緣也
之を所謂宗也
花サキ実ナレバ、芽ラクキ、枝葉ヲ生シレ
桃ノ実ヲ地中ニ埋ナラクミ、春ニナレバ、芽ラクキ、枝葉ヲ生シレ
然ニ芽ラクキ枝葉ヲ生シ花ヲサキ実ナル、而相ノ下ヨリ花開

カラスニカモ之ナレハ必モエルハツミテ、ウハキスツ水ナレハ決ウルヌスハ
ニテモエリキヤフニシレくニ條理ヲナシテソノ物くニシナワリテアル
コレ即ナ理ナリ、ナレ凡モエリヨニケニ理ノ本体上云ヒタルホウヲ
スクニ理、ト本体ト云ニアニズソノハツノヘ、動キナキモノアルソ理ト
事理ミ差別
云フ、コレ甚ゲ、認ナ難、所ナリ、シ習テ併察スニアリ、又タトヘバ
桃、實ヲ地中ニ埋メラクニ、春ニナレバ年ラウキ、枝葉ヲ生シレ
然ニ芽ヲ出キ枝葉ヲ生シ花ヲサキ實ノル、兩相ノトヨリ花開
カズ、花ヨリ先ニ實、又梅ノ花サキ梨ノ實ガ結グト云フモ
ナクイツテモ桃ノ花サキ桃ノ實ヲ生コレ一対自然、理ニシテ
人力私智、所為ニテラズ、コレ花サキ實、ナラザル前ヨリソ

ノ理ソナハルナリサレニ今地中ニ埋ミタル木也、實ヲハナレテ別
ニ空中如此、條理アルト云ニアラズ、故ニシノ桃、實ヲ燒若ヘ冉ニ生
スルトモナシ、コレ形氣ニツヒテ形氣ヲ離レサルモノナリ、サニテ既生
トテ霜ヨケモセズニヤシモセサレハ成キシ難キヨリ見バ、人カラ假ニ所
アリテ全ク自然ニ消サレ人力ハ却テコレ害スルモノナリ、假ニ桃、實
ヲウエテ栗、大木ニシタキトテ種タノ養食ヨナレタリ矢共ニテ宗ニナ
テ、コレニテ自然ノ理ハ形氣ニトイヘモソノ物ニニシナリテ見ヅ、
天地也、圓萬事萬物ニナコレラ惟ナ考フベシ、理ノ言語ヲ
以テ論說ニベキモノ、如此、外ニ明快、端的ナルトテ得難、文
極ヨノ意ヲ推テ默認、意念観ニヤリサテ如此モノ、人事ニヤ
リテソシノノ如好ナルスシナリコリ矣、理トニフ人タクミナニ

就事言理即
義理又道理

Conceptionalism?

狹義及廣義

の理

宇宙間一理

ニ由リ行つべき事ヨリ道理よ。ソノ自然ニテ人爲ニウタラカ当
リ。天理よ云サヘ道道理義理、称シタシト事ツム物ニシキテノ名
ミテアタハ所稍セマシ氣ニ對シノ理ト稱ス。守ハ道理モトヨリ
義理モモトヨリ、理ナリ、タゞコレニミナラズ。宇宙ノアスベテ理
ジニツヒテソノスンノアヘ、名ハカワレモソノ安シ一理ナリ。コレ前
ニタル天地ノす萬物象不齊トイヘ凡テ氣ニ外ナラズ。ト
曰ニ義ニ。今其大畧ヲホサン。既一理ニゾノ自然ニテ人爲ニア
ラサルコリコトヲ天ト云。許所謂維天之命。於穆不已。孔子嘗レ故舉
アノ造化ニラワレテ陰陽上ニ流行ス。ヨリ通ト云。易
大傳所謂一陰一陽ソノ
万事
万物
之謂也。美コトナリ。ソノ何事。物者。リシニ木。ナリ骨子トナリ根

天地萬物
云誠云
命云性云
神云
凡神說云
肯趣
體有

相トナルヨリ、大極トアフ。易大傳大極コレナリ、即ニ所謂ヘ。為大極モ。上
小事ミナヘ。主宰ニシテ人身ノ起居アリテ。人身ノ大極アリ。動靜行住坐臥皆之。進退奉事
ノス。ツカサトルユヘ。人身ノ大極アリ。少モ虛假。キヨリコトヲ誠ト云。無為。胡氏所謂誠者。命道ミコニナ
ソ。天地同ニアリテ萬物ノ主宰タルヨリハコレラ。帝ト云。盈所謂上
キ下民尤多八美。如ノ天地間ニアリテ萬物皆コレラ。受クルヨ
リハコレラ。命ト云。詩所謂惟天之命於穆不已。孔子所謂ソノ既
在天命。美コトナリ。盈傳。年甚多シ。性。有財ノ物ニシナリ。タルヨリハ。性。ト云。易大傳所謂成之者善。性
ナリ。ソノ純粹ニシテ毫モ不善ナキヨリコレラ。善ト云。易大傳所謂有財者善コ
リ。ソノ事物。准則タルヨリコレラ。則ト云。詩所謂有財者善。中表門
至正ニテ高毛モ偏倚過不及ナキヨリコレラ。中ト云。衷。ト云。衷。而
康公所謂民受天地之中以生尚。舜所謂上
帝降衷于下民。美コレ也。又下文ニミタリ。ソノ後モ人偽ラ雜ヘ

サルヨリコレラ真ト云。周子所謂無極其本也。眞向靜朱子之ソノ妙
ミシテ不測ナレヨリコレラ神。吉易。大偉所謂神也者妙カ物不測
謂阴阳ニレ即妙用ソノ事。恰好ニシテ過不及ナキヨリコレラ中。
ニ神ト稱ニス。謂天地之中。謂天地之中。謂天地之中。謂天地之中。
堯舜所謂无极其中。謂天地之中。謂天地之中。謂天地之中。
天地之中。謂天地之中。謂天地之中。謂天地之中。謂天地之中。
論シテ甚ヒヨクニキウタルヨリコレラ貴。ト云ソノ實体。目。之。李
子思所謂性。天道。事。言。ナタリ。又コレラ細ニ分ナテ。ア
ニトレスヨリコレラ隱ト云。子思所謂性。天道。事。言。ナタリ。又コレラ細ニ分ナテ。ア
元享利貞ノ四徳ト云。易大傳。ソノ人ニシナワルヨリシラ性。
云。利。言。ナタリ。又コレラ細ニ分ナテ。仁義礼智信五性トシ。
君臣。間ニアルハコレラ義。十云。夫婦長幼朋友。間ニアルハ
コレラ別序。言。孟子。ソノ义ニアルヨリコレラ義。ト云。君。テ
子思所謂性。天道。事。言。ナタリ。又コレラ細ニ分ナテ。ア

子思所謂性。天道。事。言。ナタリ。又コレラ細ニ分ナテ。ア

ヨリ。云。ナタリ。

三。既文。

ルヨリ仁ト云。子ニアリ臣ニリ国人ノ父ニアルヲ孝ト云。ニ敬ト云。
ニ信。ト云。傳。學。ニ。傳。學。ソノ人心。全德。ナルヨリコレラ仁。ト云。論語。中
ノ事。至極ナルヨリコレラ至。意。ト云。大學。所謂。止。於。ソノ人。ノ。當。ニ。下
トマリ。キ。處。ナルヨリコレラ止。ト云。大學。所謂。コレラ品。ニ。節。シ。タル。ラ。教。ト
云。止。所謂。修。コレラ全。フ。セ。ント。ス。ル。ラ。宗。ト云。止。而。時。習。自。之。其。餘
小德。大德。ト。記。キ。頭。仁。歲。用。ト。キ。仁。義。ト。キ。欽。明。文。思。ト。キ。
温良恭儉讓。ト。う。カ。如。キ。或。ハ。造。化。作。用。ナ。ヒ。テ。イ。ヒ。或。
人。行。フ。ベ。キ。通。ヨ。リ。イ。ヒ。或。ハ。身。ニ。得。タ。ノ。德。ヨ。リ。云。ヒ。
タ。ニ。マ。テ。ニ。テ。父。右。ニ。奉。キ。數。條。ノ。ミ。ニ。テ。限。テ。凡。四。子。六。姪
戴。又。所。聖。賢。君。子。ノ。論。ズ。レ。所。何。レ。モ。ソ。レ。ハ。年。ヨ。リ。多。
ケ。テ。題。目。立。テ。示。シ。タル。モ。ニ。テ。ソ。ノ。实。ニ。コ。ト。ぐ。ク。ミ。ナ。コ。ノ。一。便。ノ。字。

○○
ナリ、トヘ木ノ如シ或シ桿ト云、或シ梁ト云、或シ柱ト云、或シ板
ト云、或シ草筍ト云、或シ長柄ト云、或シ木刃カト云、或シ棒ト云、
如キ各ソノ用異ナルニヨリテ其形制モ同カヌルヨリコレ空ア
テソノ名稱モカワレバ、畢竟ニナツ、木ナリ、故ニ伊川、性即
理セトヘモ棒シ即木也云ニ異ラズ、如先ニ看守何名
ラレカエ、蒙明ナヒ、荀子楊子ノ如キ日ノアカヌ肇カ黒墮
ノ桿ハ添アリトニヨリテ又朱子ノ論語ラ迄ニヒテ天即
理也トちセハモ尔ニヨリテ又朱子ノ論語ラ迄ニヒテ天即
天モ同シテニテ獲罪於無所禱セトテモ率天之道謂ト
ニテモヨギヤフナレバコレミナソレクノ主意アトユヘナリ、
ソレ故即理セト云詞カソ本真ヲ端的ニ指タルマデ

元の理何故此差別ニテソノ差別ヲ明スガ為ニハリヨテナシコレ亦桿即木也ト云テ
提挈事ノ爲之に合乎の甚と艱難多々柱ニ即木也ヒイワル、ト同シ、モシ天ト性ト、至左則ラ論スル
故改定先川某の差別目前の境注
ノ如キヤウアルナリ、桿トノ別ラ語トニモイシレモ
ノ如キヤウアルナリ、カヘカラズ、丸ク削リ、人ヲ駁チシ用ヒテ桿ト
ノ如キヤウアルナリ、サテ左、如クニテ丸ラ離レテアルニハ逃レヒ
ソレト同シ釣ナリ、サテ左、如クニテ丸ラ離レテアルニハ逃レヒ
丸ト全ク同シモノハアラス、が父少レモ遠ノ説モノアレハソ
寧以異端、空寂トナリ、諸子ノ卑陋ニ落ヒユヘ、子思ニ
ヲ無色無臭トキ、周子ヲ無極トキ、程子コレシナ、漠無
朕トキ玉ヘリ、コレニテ吹自ニシテ、ヤレナリ、サレモカクイ
ハトテ空ニ首湯ニ窓冥室黙ナルモニテ、目前ニテクレシ

○○
監本

理有事乎？

テアレモニヘ通体モ云セ實理凡ム中庸ニ禽飛魚躍ニ云テソノ目前ニビケヘト活動ニシテラニモニミヘリ故ニ先業

治理トキタ人モアリ、

理畢竟在先^{アリ}、理氣妙合^ハ離^ハ看^ハ有^ス理斯有^ス氣、有^ス氣斯有^ス理。シノ者ハ不相離^レテ一ナル^{モナ}リ故ニコレラ妙合^ヒニ。水アレバ潤^フハツト云モノソノ水ニシヒテ^{ウストテノズ典型不貨}視^ト想^サセ

チワリ木ナキ寸^ハ、潤^フシト六モナシ。之アレハモニレバトエモノリ处^ニテソナワリ少ナキ丁^ハモユルハツト^モモノナキヨア見ルヘシ。シカクニ牛^ノコレラ畢竟先^リ理ト、玉ヘルアリハイカル故ソト云^ニコレタ、理^ヲ以^テ椎^シテ論^{セラ}タルモノニテ^有シ^テ、^シテ^有シ^テ畢竟ニ二字三ノ明ナリ。サ^レ理^ヲ以^テマレラ椎^シテ理^ノ先ニナ

レト云ハイカニトナレハ、理^ハ氣^ヲ生スルモノナリ。先ニ生ヤテル、モノニアラズ。コレ理ハ氣^ヲトナリ氣^ノ生^トナルナリ。故ニ生スルモノハ先ニ^シ生ヤテルモノハ後ニ^シ生スルモノハ後ニ^シリ。御スルモノハ先ニシテ御ヤサルモノハ後ニアル^シ意アリ。生スルモノハ先ニナキト云ハタト^ヘ形トカゲト^シ如シ。日カゲアル所ニ形^ハ出^カヘキシ^テ影^{アリ}。シカクニ形トカゲトハヒトシクアラフル、モニシソ向^カガ先^カ後^カモ云ヘカ^カ。誠ニ半^シ体^ヲナセバ半^シ体^ダクノ影^{アリ}。頭^バカク^テナセバ顎^ダクノ影^{アリ}。喉^立ハ^シバ影^{アリ}。レタモ先^カ後^カ分^カヘカ^カ。テモ形^ハ影^ヲ生^スシモノニシテ影^ニ生^セラン^モニアラベ。影^ハ形^ニ生^スシテ影^{アリ}。私^シ生^スシハナラヌモノナリ。サ^レハ生^スモノハ先ニ^シ生^カル、者ハ後ナルヨリ椎^シテ云^ハ形^ヲ先^カ

云凡イワリ。シテノアリ。サレ凡句國日カゲナリ。凡形。シ先ニアリテ
影。シジコ過ラリアラヘル。トニチフナシ。又御スル者。先ニシ
ト。タトヘ。騎馬武者。敵陣。ヘカドコシカ如シ。武者。初先モ
馬カ先モ分ツテ。カドサレ。是馬。武者ニ御セラレテ。カケ出ス
ミテ。テ向。目ガクフル敵。シ取。ノ組マントスルハ。リコマヌ先アリ。武
者。心ニアテ。テニテ馬。方ニハシノ意。ハヨリヨリイヘ。武者
カ先モイフルモノアリ。サレモリコム寸ハ。武者。モ馬モ一時ナリ。
サエバ畢。竟理。先ニアレトキ。ハ。ソトナリ。主トナルヨリ。推シテ
久シモノニテ。ソレ。實。ノ首モ尾モ妙合。ト。心得ヘシ。サテ妙合ト。
モトニ物ナヒ。ソノ合。フタル。处がダレ。又キハナク。目ニミヘヌラ
妙。上。手。妙。微。妙。ト。云。意。ナリ。凡。全。ト。先。ト。合。フタル

ハイカホトシックリ。合フテ。モノ。手。目。スキ。ハ。必。ニ。ユ。ル。モノ。ナリ。
又。火。ナ。ル。時。アリ。イカ。ナ。ル。大。ニ。ギ。合。セ。タル。板。ニ。テ。モノ。ソ。ノ。ハ。ギ。
ハ。必。シ。ル。ト。先。輩。モ。イ。ヘ。リ。サ。レ。モ。ハ。ギ。メ。ナ。ト。ニ。喻。フル。ヤ。フ。タル
ア。ラ。キ。フ。ミ。テ。ハ。シ。コレ。お。意。會。ス。ニ。テ。リ。タ。ト。ヘ。ハ。湯。ノ。如。シ
湯。ト。ハ。水。ト。溫。氣。合。フ。タル。モ。ニ。テ。何。レ。處。ハ。水。何。レ。處
溫。氣。ト。云。シ。キ。リ。境。ミ。ヘ。ス。故。ニ。鬚。刺。ラ。ビ。ニ。ナ。リ。モ。サ。キ
ハ。テ。ル。ト。ハ。ナ。ラ。ス。水。全。体。ハ。ミ。ナ。溫。氣。全。体。ハ。ミ。ナ。水。ナ。リ。理。氣。ノ
妙。合。モ。コ。ニ。侶。タル。モ。ナ。リ。サ。レ。モ。水。ト。溫。氣。ト。ハ。ミ。ナ。氣。ル。ガ。エ
ニ。イ。ツ。力。ハ。ナ。リ。オ。ア。リ。久。シ。キ。程。過。ト。ハ。湯。モ。サ。ク。テ。水。ト。キ
コ。レ。ナ。リ。躍。氣。ノ。妙。合。ハ。湯。ノ。サ。ク。ル。ヤ。フ。タル。ト。ハ。ナ。ク。ア。シ
カ。キ。リ。ハ。合。フ。テ。ラ。ル。ナ。リ。故。ニ。朱。子。大。極。圖。說。ヲ。解。キ。推。

之於前而不見其始之令。引之於後而不見其終之離。
トイヘナリ。サテ如斯ナル寸バニ物トイヘモ安ヒ一物ナル。又
離看ト云アアルハ何ニヘソト也。コレト小畢竟覺理ニ先
在リトスルノ意ニ相似タルモノナレバ。ソレドヒ全ク不同
モノアリ。學者ノ審ニ議スヘキ所ナリ。凡理真ノ實は
妙合ナレ必合看ト云カマ圓法ナリ。故ニ古經ナキニト
ク所合看ス以テ云モノナニハニコエタツ。サビ尾離看ト
テアリハコレ見識ラムテニキリタルモノナリ。理割
離レテキテヲトカ天地ノ間ニタフニニアルト云ミテハナ
ストヘバ酒ト云モハ米ト水トラ合セテ造リタルモノナリ。サレ
毛酒トナリテハ妙合ニノ分ヅベカテズフレ合看ナリニカ
毛酒トナリテハ妙合ニノ分ヅベカテズフレ合看ナリニカ

レ見識ラムテコレ分テ、米・米水・水トシキリカ付テミヘナリ。
安ニ酒・惟・米ト云モノシヤトワキハナシテモイワレ、意ナリ。伊川
性即理也、言、如來酒即來也ト云ト同シ。サレニ物ニツヒテアル・理
カ離ニテ物ラ離ヒテ惟アルニアラズ。コレ水ニ合セタル末カ酒ニテ水
テ離レテ酒アルニアラズ。同シサレハ即理也即來セト云・見
識ラムテアリハナムタルヒソノ寔ニイソマニ合看ニ歸スハナリタ、
短ハ甚ガ也。合看ノ說、甚多シ。且先輩ノ離看ラムテ
說カラカレタニ諸説、甚今ラ以テ審ニ推ヒ、合看ラ
以テ正意トスニキモノ甚タ多シ。說者安スヘキ所ニ
理・論物クリ、非理ノ生々無窮。

せ、人氣、活物タルハヨクニヒト紀、活物タルヲラヌテズ。イカニトナリ、

先ニ、面目形姿アリテ模倣エキノ、篇アヘン、^活物タル下、魔ニ易シ。

理ハトリタル、形像タキノミナスベ。萬古一定ニテ變セサルニリテ。死物

ニ似タルキニアリ。故ニ理ハタニえニテ、^生死ニ動靜でシレソニニテ理、

モツカラ動靜スリテハナキモトヲモヘルナリコレ理氣、空体ハモトヨ

リ不相無メソノエ理、動靜、模様、^{タヌ}タヌモノニヘ如此思ヘリモ

コトツ。而モ理ハ活物ニ死物ニアリ。何シハカクネトナラハ陰

ニ動靜アリテ少ニモ人カ機巧ラカニジ。故ニ自然ニミツカニ生タ

シテ、萬古キツマリナリ。活物ハシヘナリコレラ太極、^{ヨウ}ナ外之妙

ト也。微妙ニシテ窺ヒ測ラレサルヨリ妙ト云ヘヨレ至精

至妙微ノ義ニメ初學ノ處ニサトスエキニ非ヌ。姑ク一端ヲ

以テモラナハ仁義ハ理ナリ。仁ニ動義、靜ナリ。史ニモ惻隱

トアラハヒ義惡トアラハレタハ止ニハカリ動靜アルニ非ヌ。大

抵コレニテ意會日スベニ易大傷ニ立人之道曰仁與義トイ

ヘルヒ動靜シ以テ、^ノ周子太极圖說太极動而生陽靜

而生陰トヘルモ理、動靜ニ如此ニ動靜スレバコノ陰

陽ニ行男女萬物ヲ生ス。變化無窮ニ至ルニナ太极ノ^ノ生

ニテ即理ノ動靜トテ、^若生々シテ元ノミ生々スルナスベ。外理外、矣アヘナリ。

モニ理外ノ氣アルトナラハ必耳ニテ物ヲ視目ニテ声ヲキ、^心音ニテ聲

行キ足ニテ物ヲモツタアルヘツニシカヘニ^方年也此トナシト云理

外ノ氣ナキヘナリ。コレミナ隠ノ活物ナシ生々スルヲ見ルモノ

カルニタ、如此ニテ人、端的ニ會得セサリミリ。子思コトラ
嘵歌三人示名サント。禽飛戾天魚躍于淵トキエヘリ。
コレ所謂活潑々地トモニテ理、目之用ニビケ、ト子
テマフルヤフニテ、ラムセタマフニ。セレバ理、活物ニ大威
ニノクえニエリ。魚奥ニリテ、漏ニ躍ルトモアトニ直捷ニ
有取ラサレバ、不足為アヒ人、更ニ得エトモノナリ。先輩
所謂本体若見ノ有トナフアルハ、如此ニ対、ラヨタ者、漏
タニタトヘ人鳥ニイリテ、陸行キ舟ニアリテ、水フ漏フ如シ。人
ノ活物ナルニヨリテ、キ銅ヲクリ鍛ラテ、帆ラカニ棹ラサシテソシ。走
ス處ニ向フナリ。理ニ氣ニイリテ、ハタニテ、クモノ如些ニテ、理ノ活物
ナルニヨリテ、鳥、火天、飛テ、漏ニ躍ラニ。裏ツ火漏ニ躍リ

テ天、飛バズ。ソレくノ條理、自然ナリニ或、飛ニ義ニ躍ナリ。舟ヲ動
キ馬ノアンクハ、必シモ入ヲ倚クサル如シトイヘド。ソノ事ニ向ニ也、鳥
フ宜キサ失ハサルハ、人ノ活物ナルニヘナリ。禽、飛ヒ更ニ躍ヒ
必シモ理ニヨラサル如シトイヘニ。禽ニ必飛ヒ、更ニテ必躍
リテソノ條理ラ失ハカルハ理、活物ナルユヘニ。コレ理、活物ニテ
死物ニ非サルノ說ナリ。既ニ活物ナヒハソノ生々シテ、窮ソナキコハ
モトヨリ、ミフリ得タス。サレにゾノ寔ツ、會得セサム所謂
胡樹、丸ノシトモナリ。ヨク穿議アルヘキト。サテ理、生
無窮、向テ以テコレシルトナラハ。古今天地造化ノ推移、
テシハラクモヤミタヘタルニテ明ニ。孔夫子多ノ、折ニテ
流水ニヨリテ、コレサトシテ、石龕畫夜ト、玉ヘリ。シカルニセ、人

ニヨロカニテのやう
所是也

タ後氣以前先ヨリ生スルヲシリテ。後元ハヨ前氣ニ因スル
理ヨリ生スにてラズヨレ亦子・母胎ヨリ生スルヲ知リテ一人
父ニキタルラシラセリト同ニ謬ナリ。先ノ理ニキテ生スルノ事
第一則ニベタル未兆・寔シテユハ桃ノ芽ヲ生スル方壁ニ言
推テ知ルベシ。理ニキタル物ナラバ桃ノ實ニテウエモ栗ノ芽シ
生スルモノアルヘシ。コト^兼理ニ根リス。其門ナリ。故ニ朱子カ
ツア根於理而曰生者漠然無它窮凡ケヘリ。浩然ナルモ。究
セ、眼ニ又所々理ナリ。如以ニ根ニナルニ、太極ト云。名モツド品
栗之根極正イフルナリ。山木ノ毎年キレモアトヨリツヒニ復
生ニキノ水ハ毎日汲メテヨリウヒテ復涌クカ如ニ。張氏
箇ニ理、根サニテ生々スルアラニラリ。ヨリタ、先ノ循環也

ニに到りて氣の子
事ハ愈枯也
理をケタル所謂
理と相似ナリ
是、方所あるニ元
論

テ窮リナキトニ心得ヘ。釋迦、說コナリ。モ、如故ナレハ同ニモノナ
ツマテモクルく、モトニテ遙にシナヘトキニテ、影燈毫モ同シテ也
ニレ、蓮化テテ、ニテ、道場、建立ナリ。タトヘ、月、額、如キ
今日ハヘメル月、額、毛モ今日スリタルモ、モトルニアラニ、理シ根ト
シテ、フキガニテ新ニ生スヘシナリ。故ニ人ノ一生、也一タジミソ免
月、額、ノモ、又額モトルト、免ヘ、絶テナレ。天地蓮化モ、余如也
ナリ、人ノ、而、少天地ナレバ、一身、ニラ看ヒテ天地モ、コニ、准ナリ
ニテ、イツミ、新ニキモナリ。

天下無理外之氣、非善惡ニア天理

朱子曰、天下無性外之物、而性無不在焉。予カニコノ意ヲ留鑒

備物之謂性

卷之三

ミナガヘ讀誦
をせゑ人にアザ
の後

事は順逆ありと得
ル順逆、理、理を待
て而順理を更
くの極と道理と更
くの極とに就へよ
へき而已

シテ曰天下無理也外ニ無氣而理無不在于焉ト蓋ソノ物ニシテワレヨ
リ性ト云五ミソナワレヲリ理ト云卑高完同シテアリ。サレニ理外ノ氣ナ
キトイヘハ氣ニシトノク理トツレ立テユクトシテ純粹至善者ナテセル
フ。ナキハツナニ氣ニ心善惡、均カササギマリタトモタニツナリ
民又ハ惡アレハコレ僅ニモレタル矣アルカトヲモツハモノナリシカ
ソフニシタツテ、迷シテナク。矣ハイソモ理ト凡ニツレモルナナラ
子日ソリ善惡アリ。氣ニ順逆アリ。理ニ常變アリ。方故ナリ。
故ニソノ無アリハ半理ト云ヘカラストイヘビサヒドテ。理外ノト
ニテナリ。ナフコリ明道先生、善惡心皆大體謂之惡著此
事患但或不及便如此ト、主ヘヒアリ。ソ過不及ヨリ惡ニルト無
ダトヘ少モそハ自然、天理ナレモソ過ルヨリ之遁ラフヘテ厚痕ニテ

モ一に善者ト云ヘカラズセレモ火ノモユルカ天理テアキト云ハアラズ
タソ過ヨリ惡ト云モナリタルナリコレ過テ惡トナルナリ。
又弱キ鳥ヲヨクアルカヌカ如キハ不及ニヨリテ惡レヌセナリ。
コレミナ今日人事ノ工ニテ看レハ老明白也。亮聲，熟中ト
キニヒシリノ精審ナヘコラニテモミルベシ。サテクヽコ過
不及ノミナラズ又凡頭ラヤンノト云フアリ。タトヘバ水ノ
流リハ自然、性ナリシカルニ溝渠ニ流ル、力水ノ流ルヘキ地
頃ナリムラフニ田畠ヲ流ル、力水ノ理テナキト云ニアラス。流レ
サルコリ水ノ理ニカク順^{スルノ地裏テラサルニヘ達ト云テ惡トスサレモソノ氣流}
カルナリ。人ノ慈愛惻怛モア親切ナルハモトヨリ至極、ナレ
ル。親ミ向フテアサワレシノ妻ニ妻ニ向フテ、カリアラフニヨリ妻

ニ隔レ情ニヒカルナト云テ悪トナル。カレモソノ怒、爰、惣、相、カ
理テナキトキムシヘカラス。天下ノアミナコレテ推テ例知スヘン。

コレ善惡之十天理ノフスベテ理外ノ氣ナキラ同スヘシ。

理元ニ者宇宙ノ間ニ充實ス。

理ハ宇 宙ニ亘リテアラナル所ナシタトヘハ精ラツメタル袋、如レ
故ニ人何ニスクトニテア理ラノカレ、ナラバ。コレラノガレントスルハ
魚ナ水ラノカレントスルヨリ甚シ。ワレハ中庸ニ通也。者不
可直丈離也ト示サレタリ。昔ノ詩人晏天曰明與雨
カテニワトニシム。○_出コト有ヘナリ。シカニニ学有ば等一言ニヨリ
ニ理、充實、スニテラ窺フヲ得ヒトイヘビ。或ジノ端的ヲ
領、僕セサルモノナリ。コレヲタ先ツ充ノ充端ストイテシラサニラ

先策のえ滿す者
す事を機軸ヘ
此に理、及ふき
也第え滿らう所
は事石頭仲

リテナリ。スヘテ理ラシラントナラバ必シノ気ニツヒテ察スベコレ。
前ニモタル即物其理ラニ窮ルノ法ナリ。マツ宇 宇間ミナヒ氣ノ
充實ニタルモノニテ少レニミモスキマユルニアルトナラ。コレ亦端ノ
袋ノ如レ。但ソノ気堅轍虛寛ノ不同マリ。ノ空寔ナルモノハ
ハ虚ニ消滅シ難クレ。雖クレテ靈妙スケナン。ノ軟虛ナルモノハ
甚消散シヤスクニテ甚靈妙アリ。タトヘ金石ノ如キハ堅實
ナルモノナリ。故ニヨリ年月ヲ經サレバ朽テ絶レト能ニサレモ
自ラ動クニ能フジテ靈妙ナシ。ノ軟虛ナルモノハ
ルモノニ度ニ忽ニ消ヘシセリ。モアリソノ虛靈妙モ甚テ。○_出サレ
蒙ホトノハヨリ忽ニ數百萬家ラヤクホドノ災ニ至ルテ推知
ルヘシニレ巖ノノ但ニ知ル逃ナリ。レカニニ衰人ニ水火ノ目ニ見

ニル如キ寒暑ノ身ニ觸ル如キノミラ氣トシルノミニテ自薦
モナキ处ニ即充ノ有ルトカアラ知ズ。空虚ニ即充アルトカア
ラ知レヒソノ充實ノ少シモ據隣キトカアラシラズ。空虚
ニ即充アルトカア人ノ寒充テラレ暑者充ニ中テラレ風
シ引キ耶。忍スルナトカ類ニル羽ナリ。ア充實ニテ據隣
ナキトカアタトヘハ扇ヲ搖カセハ風ヲ生ウハシケアル矣
フル、ヨリソノ充激ニテ動ヒナリ。レ人ノ水中ニアリテキヲ
搖カニテスレハソノ水激動シテ波浪ヲナスト。又陶ノロノイ
ロノ中ニ含取テ息ヲメシトスルニタコモ入ラサルモノハソノ陶
中ニ充充実シテアルユヘテ。モンワノ陶針サニホドノ穴
モアレバ吹息ノイハモノハ陶中ノ充人ノ息三疊サレテソノ穴ヨリカ

テ入カワルエヘナリ。又陶ヲ水中ニ沈ヒハ必泡ヲフキゴキノクト
ナルハ陶中ニ充水ニ壓カレテ外ニ当ニソノ水中ヲクダリテケ
ルエヘ音ラナレ泡ヲ生スルナリ。又ニシロアル水笛滴ラ水中ニ沈
ムヒハ必一方ノコヨリ泡ヲワクモ理ナリ。コレ皆何モナキ虛空
ト云處即ヒ充ト充實ノラルニ見ルベシサレハ自無而有ナトモ
畢竟ソノ實形ナキヨリ無ト云ノミニテ真ノ無ニ非ズ。
ナ有ナリタ、凝リ聚ラカルニミナリ。今箱長持ナドノ美ラ
スシク開カズノラケバ火炎ヲトシ生スルモノ無カ有トナハナリ。
コヒタ、ソノ箱板ニキヨリ蒸シ出ストノミ思フ可カラズ。天水精
ナキボウフリキラ生スルモ同ニ義ナリ。鳥ノ翼ヲ搖カレテ
飛ヒキモ室中ミナキノミテアルユヘナリ。矣、贋

ラ様シテ水ヲ泳ルト同義ナリ。近來和蘭ヨリ傳ヘタル風船ト
ニテ寛ギラノレ船アルモノ、氣ノ充實ニテアヒエヘチソ飛車

シナヒナ。孟子浩然之先、論天地ノ之間トイ企氣

ノ体段本如是モノナハナリシガルヲ天之上ニアリ地、下ニアリテ

ソノ兩間ハ何ミナキトヲモヘル。誠、膚淺ノ至リ。張子西銘ニ

予茲藐焉混然中處トケヘルモ如此。充實ニタル中ニ形シ

ムズビテ水ノ草ニアレト回シキニ混然トキナリ。萬人天ニ踢シ地踏スト

ノ詞アルモ年如以ニテナリ。如ムニシテソト生々スルヲニモ聞

氣の豪傑する事。斯ナキヨリ萬古ラ亘リテ今日ノ如ク充實ニテアルナリコレ。氣

ト是段の少すたり。ノ宇宙ニ亘リテ充湍スル說ナリ。理充實ユレニ即ヒテ推考

者氣も尚まる。若の有ルニ外スヤ。

フベシ

一理即萬理。并渾然粲然。理、渾然タリ。一體ニノンノ内ニ粲然タリ條理アリ。故三理即萬理トナルナリ。コ書レ人、ヨルシル所ナリ。タトヘバ、渾然一理ノ大豆ヲ一つノ幾

テスリテ括リ。且タリ。大如ク粲然萬理。ソト囊袋ヨリトリ出ニテ、ダツトブル處ノ如シ。カルニソノ大便。如此トイヘソノ寔ニ一理ヲクタモテ

萬理トスルニアテ、一理即理ナリ。故モ大豆ニテイヘバ一粒ノ大豆ニカ即萬粒ノ大豆トアルトガヘキ處ナリコレ。ソノ寔体無眞無臭ナルが故。如此ジルナリ。サレバ形アルモノ、如此ノ妙アルモノモ似タニ物ナキ。物ヲ以テ、譬テ取リ難也。今、強テコレラ物ニ譬ヘテ、キニ人妻ニ又ト云セナリ。子ト云モノアリ。君ト云モノアリ。臣ト云モノアリ。旅人ト云モノアリ。乞食ト云モノアリ。盜人ト云モノアリ。

審丈ニモナリ。名稱一ナラズコレ萬理ノ如シ。カルニ權兵衛
ハ父兵衛之太郎ハ弟次郎。豆一右助。ツ、旅人。二右助。門
乞食トニヤフニ。委人アヒテ外ワレヌ。テハナシタド一人。權兵衛
ニテ子ニ對ス。ハ父ニナリ。父ニ對スレバ。不ナリ。豆ニ對ス。君アリ。君
對ス。豆ナリ。道中ヘちゞ旅人アリ。往來ニ立テ人ニ物ヲ乞ヘビ
食フリ。擅ラスヘニ。人ノ物シ奪ヘバ。盜人ナリ。人ノ婦ヲ誘ヘト。審丈ナ
リコト人ニラ。萬肉コトニトクソナワニスヘア。即万人ナリ。一理即方
理ナルモ。亦如此ナリ。变ニ道ト。キ徳ト。キ仁ト。キ勇義ト。
キ孝ト。キ弟ト。トド足ト。キ信ト。如キ方理有不同ト
不ヘモタ。一理ノ地。瀕ヨリナ。面目ヲ掩ヘテ。出タルマテナリ。コレ因シ
役者ノ胸衣表ヲカヘテ。昇臺ヘホア。武士ニモナリ。婦人ニモナリ。

體用相恆

公家ニモナリ。法師ニモナルト同シ。カレバ其津然タルヨリ一理トキニソ
粲然タルヨリ。萬理上云。ソノ室ニニ物ニアテ。ク。ソノ地頭。カワルヨリ。
事ト知ルベシ。サテ如此ナヒ。渾然中ニ粲然アリテ。渾然即粲然也。粲然アリテ。渾然即渾然ニヒ。毫アリ。コレラ体
用相恆ト云。程子所謂。冲漠無朕兆森然。即昊天。ト云。モヨシ
采サントナリ。此ニ渾然粲然。并ノ目。ソノ異ナル。处々トシテ。モヨシ
タルモノナレバ。概必得テ。併用ノ分。尙ニモ絶テ。キツミナレ。左三
非スノ名目ハシテ。ノ。地頭ニヨリテ。カタルモノ。ニテ。渾然。ノ。处ニラ。粲
然。ト云。名。立。之。矣。矣。然。处ニテ。渾然。自ラ称ス。ナシト心傷ベシ。
程子カワテ曰。性中。只。有。圓。仁。義。孔。智。四。者。而。已。寫。身。有。孝
第。未。ト。ニ。渾。然。ハ。外。久。ニ。テ。粲。然。ラ。ニ。ベ。カ。ラ。サ。ル。ノ。說。ニ。シ。テ。カ。ハ。汗。

無朕萬象已則し言ト並ヒ行又レテ不相摩モノヘ存シ意會スニニアリ。

本体

本体中統体各具三様ノ着异所當然所當然所當然而

事體屬

本體

一理ハ即万理。万理ハ即一理ナリ。十ハ空ニ一理トキ或ハ万理トキ
タルヲテニテ事ニミタルイレハソノ内ニシヒテ又本体統体各具
ト云三様ノ着アリ。又当然所以然ノ兩層アヘ。三様ノ着ハ年子不
西脇人達ハ源流トユ走ニシテ、集及てソレハ、主竟ヨリ冬ツケタ
大字松物致知、或同尋ニシテタリ。モノニテソノ空ニ二致アリ。本体者自之統体ハ道体ヲ
トク各自ナリ。所當然所以然ニシテ上ニシヒテミタルモノヘ。本体
トハ所謂提述ナトクノ名ニ理、形質中ニ隨々ニシテ渾然
隨生

本

タル即ソノ本体、空併ナルカニ。本体ト云若異トハ理ノ萬事物

既存即第ニの
シニヤニスル

ロナワリテ火ニ炎ニ上水ニ漏下子ニハ參臣ニ志ト云ヤウニソレクニ
條理ヲナシテ粲然タルモノヲ具有スルヨリ各具ト云。又ニ本
体ニ不ニ有具、萬能ナリ。統体ト^ハ萬象各具ヲ統會シテノ
名アリ。故ニ萬象ノ外ニ別ニ統体ト云モアラズタゞ各具
カソノ事ノ物アヘ。ニモア云。既仰上ハソノマクソナヘタルハ
ミナ同シモソナテ次テ合テニラ統体ト云ナリ。ソレニテ先輩モ統体
ニ地位ナシトイヘリ。今大極圖ノ段十圖ヲ以テコレラニ最
ト第一圖ニ平生也。形氣ニヨキサハ物ヲ接第二圖以下ノマ段九圖ニ
テ火具ナリ。陰陽ハ陰陽五行ニ加行トツク。サテ四段九圖ニ合
セテクニツ向レ圖^ハナルオリ云ヘバ統体ト云。タトヘバ月^ハ唐^ハ

萬川箇、皆圓ト方角如キ天ニアル月ヲ本体トスコレ木ニ

故ニ統体ト名異ト。地位ヲ同フレテ本体ノ一段上ニアリテ同ニカニ
ト知ルヘシ。コレ地ヲ以テニ様ラカツ之モノ又瞬ラハユヒライヘバタトヘ
一歳間杳々身取冬トワカレくニ生長收藏ノ行ワル。人
各身ナリ。音ミモフ裏ニミ和ニモキニモ。一歳ラスベテニナコノ生意心
ノ流行ト。有ルサハ統体ナリ。數今年一歳、年意。古年
ノ多ニ本ツクト。オハ平体ナリ。故ニ統体ト名異ト。時ラ同フシ
本体ノ一段前ニアリテ同レカラズストレアルベシ。先輩單ノ説。時處ラ同
明ムテ異ニス。統体アリトイヘニハ即所謂本体ニシテ後任ニアラズ先輩ハモト
本体主統体ト誤ナリ。统体ニシテ名異ト。時處ラ同フスルナリソノ時處ラ
異ニスラ。誤ニテ誤ケリ。故ニ名コノ誤アリ。今事
ノ後シテ、ワマヒテナニセグ
ヲ今ツモナリ。サテ左ノ如ク三様ノアリトイヘモソノ實ハタ、
兩肩ナリ。絃体名異ト。ツツニ分ルトイヘ民家ハ一層ナニエヘリ。

故ニヨノ兩層、所謂所當然所以然ノ西層ト同シキニ歸ス
下ニテ
詳ナリサテ所^ト當然以然トハ一事ノ上ニツヒテソノ理ノ西層アル
ヲ云。一竹当然トハ事当然ト云義ニテヒラタクナイヘバソレノくニコウ
スルハツア、スルハツト云義アルヲカ。父子ノ間ハ親ニクスヘハツ
臣ノ間ハタモレクスレハツト云義。アルヲカ。父子ノ間ハ親ニクスヘハツ
臣トキモノニツナワリテソノトヤニ事ヘ安ラツカヒトドスニ^上行
ハルノ理ナリ。所以然トハニカルニヘント云義ニテヒラタク
イハソウスベキワケト云義アラキナリコレ即^ハ當然ノ出ト所
ノ源ナリ。父子ノ間ハニタレクスベキハ所^ト當然ナリリツウケ父
子ハ同一体ナルカニヘト云カ所^ト當然ナリ。爲事ニコト^ハ推ナ例知^ハセ
カニ^ハ事々物^ト所^ト當然^トノ^ト明ニ^ス。初字ニテリテハ

想像腹度ニモ及ヒ難キアリ。イカニトナレハ所當然ハ全事
物ノ上ニツヒテ存スルニ^ハ見ヤスキ意アリ。所^ト當然ハ事物ヲハナシテ
別ニアルニ^ハ非レモソノ由テ車ル所^トノ源ニ^ハニテ一層上ニアルニ^ハ見
難キ意アリ。死子四十而不然^ハ所當然^トコト^ククニカヨツニタトヘバ寄^ハ
什琴^ハ如シ。大トアリ衣服アリ。鍋全^ハアリ。箱長持アリテ大小
腰^ハ佩ル。衣服ハ身ニ着ルハツ鍋全^ハ物^ト莫^ハノ^ト箱長持^ハ大^ト
物^トライレテラクハツト云ハ所^ト當然^ト如シ。ソノ由テ車ル處^ハ大山^ハ通
其屋^ハナリ。車長持ハサモニ屋^トアリト云フレ^ハ所^ト當然^ト如シ。カニ
如此ニイヘハ所^ト當然^トモ通具^ハ屋^ト其服^ト屋^ト鍋全^ハ鍋治屋^ト
アリテ萬年^ニ分レテアルヤ^ハニ^ト也^ハ所^ト當然^ト也^ハ。

ニテ所以然ハミナ一ワアリ。コレ什事ノ隣言ニテハ合ハザルモノアリタト
ハシノ开戸ノ如シコレラ四烟ニ引キテ用木トナシ反ニ引テ泉水トレ
鍋全二入テ餌ヲタキ斧ヲ烹ニ或覗ニイレラ墨ラスリ或之先
入レテ花ヲ挿ヘソノ用不同ト秀ソノ由テ秉ル所少一升戸
ヲノ爲殊アシナシコレ所当然ニ萬殊ニナ一所以然ニ一源
ナル見ルベシサレバ所謂所以然ハ即チ大任ハ極ナリ
上事所說ノ是也。所謂弟理即善即一理ナリ所謂所当然ハ即各具ノ大極ナリ即弟理
別的理を出ス

ニシ所以然ハミナーフアリ。コレ付墨ノ壁ニテハ合ハサルモノアリタト
ハシノ开戸ヲ如シ。コレラ四烟ニ引キテ用水トナシ庭ニ引ニテ泉水トシ
鍋釜三入テ候ラタキ空キヲ烹或覗ニイレテ墨キラスリ或い瓦瓶
入ヒテ花ヲ挿ケソノ用石同ト旁カソ由テ开戸所ニ一开戸
ヲ鳥歟アーフナシコレ所当然ハ萬殊ニテ一所以然ニ一源
ナルヲ见ルマシサレバ所謂所以然ニ即ク仔ハ大極ナリ
即ク一極ナリ所謂所当然ハ即ク各具ハ大極ナリ即ク萬理
ナリソノ日不同トイヘ比サハ實ニ二教アル。非リアリ明早ナリ

理先体用並体用一源頭微無ア
体用トハ形体運用ト云ソ義ニテ同
王ト有^{エト}豪^モ物ニテ云ノ翁
ナレハ時位ヲ同フメ云タヒモノミテ直日乞^ハ作^ハ即ナリ首^ハ龍日復
キノ翁至^ハ行^ハ甲カリ天^ハ年^ハ健

用ナリ陰陽ハ体アリソノ動靜ハ用ナリ 体中又有用之意
コレミナ時位ヲタツテキヘカラルモノアリ
モトヨリ明ナレ西言說シ勞セサルモノアリ。サレニ道何ん、性理、說ニ
コレラ用ニ至リテハ往々凶形、理ヲ論スルソノ名ヲ假借シタ
ルモノエヘソノ意一轉スルアリ。ワレニヘ時位シ同フスル作用アリ
チテグル、月日年足又時位ヲ異ニスル作用アリ。成カ者ハ作用、經ニ
等、美ヲ以雅スヘシ者更に用城此與之用也之復ハ体、故行ハ月、對身ハ年、寐然ハ体、感通ハ用、未幾ハソノ時位シ
佛已成ハ用渾然ハ乍、粲然ハ日ト云ノ事也、如レ
因フスルモノハ体用不相離シテ、竟之へ易シ。ソノ時位ヲ異ニ充
モノニ至リテハ年ト用ト先後所彼此位アルエヘ体中又有用之意
ニ用神有体ノ意モ並ニ之へ難キモナリ。故ニ種子コレラ原
無向トキモニテソノ不相離ノ意ナリ明ニシ五アナリ下文ニ
詳ナリ

理ヲ以テキヒ又本用ニニギラ以テシキノニミリテハ先後設此ア
リトモヘビ一原ノ與アリノ意ニレニ既ニ說ラ勞サルモノナリ○元亨ヲ
利貞ラキトシニラ用トシニ義ヲ用トスルカテ體用一原トハ理ヨリシ
如キ一原ノ意ニシテフニ清タズ
理ナルコリ氣ヲ以テ直
ニ冒用トニ事極不可
可理象不同差別
の趣甚也混淆
斯可ヤニテラカル也
氣之微ニ運用ナシ者
理ナルコリ氣ヲ以テ直
ニ冒用トニ事極不可
可理象不同差別
の趣甚也混淆
斯可ヤニテラカル也
アルナリ一原トハラキトニ義ナソニワカレニ十キカラム一貫
微・理アリイカニトナレバ可見ノ形象アルモノニハナリ所及
然ノモノアリ其所以然ノモノハ目ニモミヘヌモノエヘ微妙
理・活物アリ云既此トニモ大抵同ニ體用ノ原ナルハ理中ニ至案アレハナリ
車アリ併用一源不辨
自明
新氣逐ニカド無間トハラヘツカリト一收止ラ云レキリ碌ノナキウテニ覗
の所謂物質自体ノ

微・無間ニ氣中ニ理ヨリセナテ元體用ノ別數様アリテ一定ナラ
サル如シトニヒ畢竟動靜ヨリ少ニ過キス 形体ノ静ナリ運用動
又本末ヲ以テ分つ者也一本萬殊トニ類本ハニミシテ一本ハ萬ノ意
也去ニ是モ矢張動靜ヨリ少ニ意ヨリ來ニモナリ靜ニ定ニシテ
動ニ萬度ナリ也(形體ノ靜ニシテ)迄ニ其運用ニ動テリ莫変ヌトニ葉
物ニ形体ニ靜ニ其運用ニ至クトニ運用ニ動ニ階其事ニ也是本ナリ
圭ク所ノ文字數百千アリシ其用ニ迄セス是萬殊ノ目視耳聴等
如キモニ之ヲ推ア例スニ又或ニ理ヲ待トニ氣ヲ用トスモ理ハ本ニメ
氣ニ未ナルヨリニ(本用一源ノ如キ即是ニ)理ニ靜底ニ屬ニ氣ニ動
底ニ屬ニ意モア也(理ニ動靜貞アリ今属ニ可カニスト雖モ姑く氣
ニ對ノ肩ヘ時ニ如此ニ万タル者有人心有寔道体並為ナトニ意

ニテ推知スニ) 又内外ヲ以テ分ワリ是亦才末ノ意也之ニ由テ考
ルニ体用二字動靜才末ヲ以テ分ツニ過キス又コノニロ無ネタ
者モ多シ(性情中和一貞忠怒等類是也)スベア道體才然
ヲ論スル者ハ動靜渾然ス以テ少シノモタラノ學術工夫ヲ論
ス者ハ才末内外ヲ以テ分ワモ多シ大抵左ニヨラハス

天道

地道

人道

鬼道

神道

物道

事道

法道

義道

體

用

象

象

象

象

象

象

天道

心性

人道

有形象之屬

地道

形而下者曰道

人道

無形象之屬

人道

形而上者曰道

天道

無形象之屬

正義 中正

性 情

道 義

右、類大抵動靜反覆分つたり

太極 陰陽 天命之性 率性之道 明德 新民 根幹 枝葉
冲漠無朕 萬象森然

本体 各具

一大千萬殊

渾然

粲然

一用 本 忠信進德 傳辭立誠

一用

持致

行如一

所以然 所当然

忠 憎

貫

天道之性等を属大概ナリテ云モナリ一千萬殊

等ノ如キ天人通用シテニロノ云キモシタレ拘ル(カヌス)

古ノ類大抵本末ヲ以テ分フナリ
右教頭ニ何モ先寶、說見ルモノナリテ外ニキ高程未第、說ニ
出ルモノ多ナルシ畢竟一動一靜ニ天地間ニナ如斯ナルモ、故ニウト大体用
理アラサルナシ右ノ例ニテ推テ知ルヘシ

理無精粗

ナニ性命天道、說、問學、奧秘ミテ千真、颖悟、如キトイヒ晩年ニ
至リテニテキカレタル由ナリ其說甚高遠ニシテ初學淺陋、草率
到ル所ニアラス又言語ノ容易ニ發明ス一キニ非、若ナリ然ルニ前、數

説、如クナレハ、鄙々近キ聲、喻ナドヲ以テ、發明アリテ、其名義、大畧ニモキコヘタルヤウミアルハ、其説タトニ甚誤リナシトニ、虽モ其尤粗ク、而牛キ者ミシテ、精粗高遠ノ旨ニ至テハ、前ノ數説、如キニ、有コレ、疑フヲ、有ラン若如此、寢ナキモノ、却ニ性命、説ヲ以テサシタル精微義、ナキ者ナリト思フアヒハシユノニロノ者、即容易ニ初學ノ為ミ、説ヲ論スヘカラサル所以ナリ。孔夫子、予無慮乎、再ニトノ玉ヘルナキ至粗中ニ至精ノモノ、存スル故、別ニ高遠ニ旨ナキヲ、玉ヘルナリ。又明道先生曰、諸學者見以所見、判之理、不惟所聞、不深微反、將理、低宥了ト誠ニ此言、如鑑然ニ通理、精粗、隔ナリ、合ニ高由ナ一袖、大タルモノナリ。故ニ近キヲ難テ、別ニ遠キヲナリ。由キヲ離ニテ、別ニ高キーナシ。高遠ナルモノ、必卑近ニ中ニアルナリ。サレニテ学者ノ所見、見イマタ到ラサレハ、近キヲ見テ、遠キヲ見テ、見ヘ由キヲ見テ

高キヲ見ス、或ノ人ニ高遠ヲ告ルトイヘトモ、實ニ見得ル能ヌ、故ニ前ニツノ病アルナリ。去ニハ理ニ精粗ナケレトモ、學者ノ所見ニ淺深高下アルナリ。タトハ、列生ニテ音樂ヲキクカ、如ニ聾耳者、耳ニ入ルトナシ。故苗子ナルモ、大鼓ノ鳴ルモ、固ヨリニシテ能ス。衆人ノ耳アルモノハ、是ニ苗是ノ大鼓ノ音トキニテ、知ル者レバ、平声イロトハ、壹越イロレハ、ナリ。イハカルキ者ニ至リテハ、ワノ和不和ヲ知ルト、又音樂ヲ知ル者、皆ヨク之ヲ辨ヘ。師曠ノ如ト云フヲ、知ル者、斯ナニ、音樂ヲ知ル者、皆ヨク之ヲ辨ヘ。師曠ノ如キ者ニ至リテハ、ワノ和不和ヲ知ルト、又音樂ヲ知ル者、及ハサル所アリ。是其人々、知ル所浅深高下、慧等級アリトニ、聽ノ所ノ苗大鼓ハ、師曠ノモ衆人モ同シ。苗庄ノ苗大鼓也。師曠、如キモノニ至リテ、獨其聰、苗大鼓ヲキク。ニテ默識心解スル所アリト云ニ。非ス去ハ今日説ノ所ノ性命天道モ、决半子貞、晚年キク所の性命天道モ、決ニテニ致アルニ非ス。唯ニテ知ル所ニ至アハ、其人々ニヨルトニテ、或ハ同年

而詰ル可カラサル程ニテカフ事モアルヘン是理、精粗タルシテ学者ノ所見ニ浅淺高下アルエ一也

孔子以前理氣ノ說ナレ

理氣ニ字孔子以前聖賢ノ說キ玉ハサル所ナルテ以テ世ノ徒ノ訓詁ノ三事トニ學者ニシテ疑フモアリ是誠ニ元陋粗淺可憐ナリ理氣名目ラクテニ字ヲ相對ノ說ナリ其以前六圖ヨリアルシ考ニ背ナキニアルトニミヲ以テ疑ラ生スルハ實ニ道理ヲ知テスカラノコナリ仁二字孔子ノ門ニアリテ朝夕之ヲホルノ法ヲ教玉フ堯玉舜文武時ニアリテハ此汲々タクシテナムガス然ルニテ以テ疑ラナサルハ何ツヤ且コニ字ナシトイヘソト言ノ是ト符ヲ合スルモノハ枚舉スヘカラス今姑クニテ舉テ之ヲ示ツシ尤明白ナル者人ニ道ヒノ言ナリ人心ニ氣ヲ生ス故尤ト云道心ノ理、本ツヨニヘ微ト云是タ、

一心ニシテ理氣ノ分ナリ又以禮制心以義制事、如キ礼義ノ理ナリ
心事ニ理ナリ是理以テ氣ヲ制スルノ義是理氣、二字ナシトイヘニ
其ノ用ヲ下ニ云フヘシ又詩、正民ニ大生亟民有物有則民之秉彝
好是懿德トキテ如キ孔子ニテ祝之玉ヒテ有物无有則モトノ玉ヘリ
ニ即有理斯有氣、意ナリ易、大傳ニ至リテ其言比ニトノ數
生ノ暇アラス其間形而上為形而下為器、如キ理氣ノ分尤明白ナリ
樂記ニ天理人欲相對シテヨキ丹書ニモ、義ト欲トヲ相對メトケリ
欲トヨ即氣トノ所為ヲ云ナリ孔子克己復礼ト、キ玉ヘルモ亦尊
ナリ粗心ノ非革字ラシレニ義義ヲ察スルト能ハス詞ヨリニ意ヲ推
スト能ハス或ハ名ラ佳口ニ急ニ或ハ利ヲ射ルヒカレテノ首ヲ俯シ思ラ
ナリ是理ノルノ拘ナリ之ヲ先トニ謂
ナリ者狹義ノ理凡此ニ當ル
遂ニ周公孔子ニ背クニ至ルラ察セス嗚呼アソ所為ヲシテ誠

研即拘欲即戒
拘斂不苟尤者
ナリ之ヲ先トニ謂
ナリ是理ノルノ拘
ナリ者狹義ノ理
凡此ニ當ル

可悲トイハシノ情ヲ察スル可悲モアリ然ニ此等ノ義先輩スニシノ辨アリ故ニ今エトニ詳ニセスニカカ大畠ヲ云フ

此書未詳其事何ニテ然其前説曰近而明白初學得者莫不鮮則便易勝宣至矣至似文

紀山先生主写

理氣說の批評

一切の體及所當為理故乎廣義の相對と以て觀る時此氣を含カントの所謂眞質の体と云ふ事ナシ利直不可單獨の物質かと可し人外の是些譬へ象とするのみ就て考ノ思慮事持乃一序ノ事御方ノ管理ゆゆく者而此象とは也廣義を以て解する時此物と人間と領する者ナリと子以と出づ可する然其室宮所領の所は然而不當然無理ナリ又非凡則ち元單竟理の所寓とある者理の所現也又高ニえと藉る者される限の所現とあるき是理の理ある所以がて存する也故に究到まつて氣を生ずる所の能特的理ある事可りトモ也スニシテのカニロヒ體論して之觀的理並心身の能所の者は是より差外趨向不從上時此理氣ニ元の作用を以て關係する者とあらう可りナリシ是式還に於て皆も之觀あるも理氣のニ元を主な事ニ成可り且之觀的理並風の充利在理氣說の實ニ極ても也極一軒理氣說ニ高ニルノル紳流トヨリシエリゲスニテを度ヘスニサセを傳ばすもの關係を重んじること厚す也理氣の說が止ま放々極く止りの所說と併載を同一くする者有

ニギニアの家ニミスナシヌモアの迹にて理氣の説の遂ニミスナシムを根柢ニ
置くと其旨趣ト一すむ者あらず見テ——因果、是理、諸像、是理
氣、理氣說の三者をもあらず、而して、有一ケルの所謂理と理氣說、所沒
理と理於、甚と相似ありと、此道を氣も源く、論理の精粹と理氣
說より所了し事と見リミスナシヌも所以ある——理氣說の至徳甚と
曖昧其ノ端と以て是と見定め可也ト似す所あり或シ者也じテ或ニ
ワシソカニケレバ以てても、此を兩立する事と固む之を要す
苟ニ義相對の氣、カントの質体と云ふ見だり、是を極きを要す
内觀と以て照拂明辨、セニヨ其滿と浮かゞるを敵と窺えんす
不二義の相對、性理の陽比翁首章、大之、辨析を勉めり、即ち
理氣、アリストテレスの所謂典型と質体との關係を以て得失せらる是也大底理
氣の流れたる者、之は、天地とする典型、理の天地の典型ニハ、たゞ、質体材
而へ復、Typologyを載す所の thing 又 to individualityを固す所の
activity 又 rationality、亦併の thing とやう。解めて、倫理学判
て、エカルヌートは對するジシリカイトとも見合す。是の里不思議をうか
ばね

彼を上後くハカント認為、スジテ不苟也、入ハ、理の像(アラルヒト)ハ
莫ね、無不善す、ニテシテ、而方理と下方、通スル、意畢竟の帰趣
ニテケルト、スニサ所說も論理、事と進づる者と謂ふ、カント、普
遍的正統、ヤニヨリ中と後く是亦畢竟一旨を有す、即ち、現象
の法則、我限、私権、私榮、耶、是、天道と泛くをカド尋
偏の實に者、うつの方面から有神を論ずる、一実れ事西ニ特徴す
渾然焉り矣



